

生活習慣活動を評価

つくば・豊里中 文科大臣賞を受賞



生活習慣の確立を呼び掛けるリーフレットやクリアファイルを配布し、教室で説明する豊里中の保健委員ら（左奥）＝つくば市高野

生活習慣づくりの普及に取り組むつくば市立豊里中学校（茂在哲司校長、生徒474人）が、本年度の優れた「早寝早起朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰に決まった。表彰式が今月7日、国立オリン

ピック青少年総合センター（東京）で開かれ、茂在校長が代表して表彰を受けた。同校は2013年度から「早寝早起朝ごはん」を推進している。生徒の自己管理能力を育てるのが狙い。「生活習慣の確立から

始める「夢」実現プロジェクト」と銘打ち、運動、食事、睡眠などの生活習慣を確立させる啓発活動を続けてきた。

筑波大の運動栄養学研究室とも連携し「スポーツ栄養」の視点を採り入れ、体組成測定などを実施。同研究室の調査結果に基づいた指導や啓発を行い、部活動単位での食育講習会なども開いた。

同大臣表彰は、2012年度に創設。生活習慣づくりに関する活動のうち、地域全体への普及効果が高いと認められるものを表彰しており、今回は企業なども含め、全国53団体が選ばれた。

同校は大臣表彰を契機に、生活習慣の確立を呼び掛ける自作のリーフレットやクリアファイルを生徒ら

へ配布。そのほか、校内の目立つ場所に同内容のポスターを掲示するなどし、「早寝早起朝ごはん」をアピール。生徒への意識付けを強化している。茂在校長は「（豊里地区の）幼稚園、小中学校に配布し、地域全体に広めたい」と話した。（高阿田総司）